



杉並区立小中一貫教育校

杉並和泉学園

新泉和泉小学校 / 和泉中学校

令和2年5月11日
学園だより No.57
学園長 田中 稔

新型コロナウイルス対策を進める今、心と体の中に強い根を伸ばそう

杉並和泉学園 学園長 田中 稔

新型コロナウイルスの感染の拡大により、始業式、小学部入学式が行われた翌日より開始された臨時休業（以下、「休校」）の措置もついに1か月を超えることとなりました。この間、子供たちが居なかった学園は、あまりにも寂しく、子供たちと触れ合う事で力を蓄えている先生たちは、何となく元気が無いように感じられました。そして、4月終わりに実施した、児童・生徒たちとの唯一のコミュニケーションの機会であった「電話でのやりとり」の最中に見せる先生方の嬉しそうな表情が、とても印象的でした。

そのような中、4月9日に中学部の保護者のお一人が学園長室にお越しくださり、「こんな時だからこそ、学園の子供たちに何かできないかと考え、小学部の低学年の子供たち用のガーゼのマスクを作りました。マスクが足りなくなり、困っているお子さんに渡してください。」と50枚のかわいいガーゼマスクを寄贈いただきました。（この事は、学園HPの「学園長のゆ〜いぎな話」にもアップしました。）

また、後日、同じ保護者の方から、低学年用50枚と中学年用58枚をいただきました。いただいた時、「本当は、もっと作りたかったのだけど、材料がもう手に入らなかった。」と申し訳なさそうに話されていましたが、その温かく優しい思いに涙が出そうでした。この事を朝の打ち合わせで先生や主事さんに話したところ、先生・主事さん方は、声を出して喜んでいました。私自身も、御寄贈いただいた方の優しい思いに感激するとともに、東日本大震災の時に皆が感じ、その時から10年経つうちに少しずつ薄れてきていた、人と人との目に見えない「絆」、日本に住む人のもつ「助け合いの精神」を久しぶりに強く感じました。この杉並和泉学園は、本当に素晴らしい方々に支えられているのだと改めて強く思いました。

この休校の措置を受けて、1学期行う予定であった小学部各学年の遠足や中学部第7学年の北塩原フrendシップスクール、5組の野辺山連合移動教室が既に中止となっている他、中学部の運動部活動の練習や試合も止まっている状況にあります。また、一年間で行う予定である学習内容等を進める為に、今後、夏季休業期間を短縮したり、土曜日の授業を増やしたりするなどの年間計画を再構築しなければならなくなっています。この事は、児童・生徒たちが楽しみにしていた事、目指していたものが欠けてしまうことに繋がっています。きっと、この新型コロナウイルスの感染にかかわり、これからも、何度か辛い思い、悲しい思いをする機会が訪れるものと思います。

本年、3月19日に行われた中学部卒業式において、卒業生の門出にあたり、シドニーオリンピック・パラリンピック競技大会での金メダリスト、高橋尚子さんの「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ、やがて大きな花が咲く。」という言葉を送りました。

この緊急的な状況で、児童・生徒にとっては、納得できないことがあるのは間違いありません。しかし、友人や身近な人の健康・安全等を心配したり、日本や世界の国々からの報道等を見て、自分として何ができるのだろうと考えたりする中で、この状況下であるからこそ、児童・生徒一人一人にしっかりと育っている「力や心」があるはずです。また、自分一人で行う体力・体幹トレーニング等が将来スポーツ選手になるという夢を叶えることに繋がることにもなるのかもしれません。しっかりと自分の心や体に「根を伸ばし」、いつか「大きな花」を咲かせる事を願いたいと思います。

最後にこの間、保護者・地域の皆様には、様々なご心配をおかけしました事をお詫び申し上げますとともに、親身なご協力に心より感謝申し上げます。

マスクがなくてお困りのお子様がいましたら、いただいたマスクをお譲りしますので、ご連絡ください。



小学部 入学式

今年度の入学式は、新型コロナウイルス対策により異例の形ではありましたが、桜の花が咲いている中、晴天の空の下で無事開催することができました。学園自慢の芝生の上での入学式は、本当に気持ちがよく、子供たちの晴れの舞台にふさわしい式となりました。杉並和泉学園の教職員と保護者の方々に見守られ、学園の1年生になった子供たち。



教室では、担任の先生の呼名に、どの子も元気よく「はい！」と返事ができました。一生懸命に話を聞き、返事をする姿から、これからの学園生活を楽しみにしている様子が伝わりました。学園生活や学習、行事などを通して、たくさんの友達と仲良くなり、杉並和泉学園の子として優しくたくましく成長して欲しいです。

小・中学部 始業式

新型コロナウイルスの感染予防のため、令和2年度着任式と始業式は、放送で行われました。着任式では、転出・転入された教職員の方々の紹介がありました。始業式で田中学園長先生からは、「今年度は、学園が創立して5周年を迎え、節目の年となります。また、学園教育目標がリニューアルされました。新しい教育目標は、『Communicate（豊かにかかわる）』『Challenge（ひたむきに挑戦する）』『Create（新たに創造する）』です。特に、今年度は『Communicate』を意識して、明るい声でしっかり挨拶をし、人と人との関係を豊かにして欲しいと思います。」というお話がありました。



芝生とともに



杉並和泉学園
芝キャラ
しーばくん



毎週土曜日に芝サポートの皆様《(旧和泉GPを母体として、保護者・OB・地域のボランティアさんで構成) 愛称は「芝サポさん」》の御指導を受け、各学級で芝刈りを行っています。そうした努力の賜物で学園の芝生は、今年も良好な状態で春を迎えました。

例年ですと4月の土曜授業で、1年生の親子芝刈り教室を経て、各学級で芝刈りを行うのですが、今のところ今年度は動けません。現在は毎週金曜に、大場造園さん（定期的な見守り、機器のメンテナンス、種まきや肥料散布、維持管理の助言等をしていただいています。やはり、専門家のサポートは心強い限りです。）と出勤している教職員で芝刈りを行っています。

芝生の効果には、次のような効果があります。

- ・目にも体にも心地よく、体を動かしたくなる。→ 児童・生徒の心身の成長への効果
 - ・天然のクッションとなり、児童生徒のけがが減少。→ 安全面の効果
 - ・水はけがよく、降雨・降雪後の復旧が早い。→ 教育活動実施上の効果
 - ・作業やイベントへの参加。→ 学園・保護者・地域のかかわりやつながりを広げる効果
- 芝刈り実施期間は、4月～11月です。（天候や芝の生育状態によって変動）

一日も早く、学園の皆さんと一緒に学園の自慢の芝の上で活動できることを楽しみにしています。